

J10189  
初版  
2015年12月

# ミニデスクトップPC ユーザーマニュアル

## E510 Series

**ASUS**<sup>®</sup>  
IN SEARCH OF INCREDIBLE

## COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されていますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的のみに提供されるものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2015 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

### 責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負いません。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

### サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。

<https://www.asus.com/jp/support>

# もくじ

本ユーザーマニュアルについて.....	7
このマニュアルの表記について.....	9
表記.....	9
アイコン.....	9
安全上の注意.....	10
ミニデスクトップPCを使用する.....	10
本機のお手入れ.....	11
パッケージの内容.....	12

## Chapter 1: ハードウェアと機能

製品の概要.....	14
メインボックス.....	15
前面.....	15
背面.....	17
側面.....	19
底面.....	20
ドッキング (オプション).....	21
前面.....	21
背面.....	22
上面.....	23
底面.....	24

## Chapter 2: ハードウェアのセットアップ

オプションのドッキングをメインボックスに接続する.....	26
本機のセットアップ.....	28
電源をオンにする.....	34
VESAマウントの使用 (オプション).....	35

## Chapter 3: ミニデスクトップ PCを使用する

ミニデスクトップPCを使用する際の正しい姿勢.....	40
正しい姿勢の維持.....	41

## Chapter 4: サポートするオペレーションシステム

Windows® 7環境で使用する.....	44
初めて使用する.....	44
スタートメニュー.....	45
タスクバーを使用する.....	46

通知領域を使用する.....	47
Windows®エクスプローラーを使用する.....	48
ファイルのバックアップ.....	50
システム設定の復元.....	50
Windows 7 Action Centerを使用する.....	51
Windows® Updateを使用する.....	51
ユーザーアカウントとパスワードを設定する.....	52
Windows®ヘルプとサポートを使用する.....	52
Microsoft Windows® 8.1 でのダウングレードについて.....	53
OSをWindows® 8.1 Proに変更する.....	54
Windows® 8.1環境で使用する.....	57
初めて使用する.....	57
Windows® UI.....	58
スタートボタン.....	61
スタート画面をカスタマイズする.....	63
Windows®アプリと一緒に使用する.....	64
アプリのカスタマイズ.....	64
すべてのアプリ画面へのアクセス.....	66
チャームバー.....	68
スナップ機能.....	70
その他キーボードのショートカット.....	72
インターネットへの接続.....	74
本機の電源をオフにする.....	75
スリープ状態にする.....	75
Windows®8.1 ロック画面.....	76
ロック画面をカスタマイズする.....	77

## Chapter 5: ASUS Business Manager

ASUS Business Manager.....	80
ASUS Business Managerをインストールする.....	80
ASUS Business Managerを使用する.....	82
System Information.....	83
更新.....	84
セキュリティ.....	85
USB Lock.....	86
バックアップと復元.....	86
電源.....	87
ツール.....	88

## Chapter 6: BIOS Setup

UEFIとは.....	90
BIOS を起動する .....	90
BIOSメニューオプション.....	91
Main .....	91
Advanced.....	92
Boot .....	93
ツール .....	94
ASUS EZ Flash 2 Utility.....	95
HDDアクセスの設定.....	96
USBポートの設定 .....	99

## Chapter 7: トラブルシューティング

電源 .....	105
ディスプレイ .....	106
LAN .....	107
オーディオ .....	108
システム.....	109
CPU .....	110

## 付録

回収とリサイクルについて .....	112
REACH.....	112
Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC).....	112
Wireless Operation Channel for Different Domains.....	113
CE Mark Warning.....	113
CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth.....	113
CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth.....	113
Federal Communications Commission Statement .....	114
リチウムバッテリーについての警告 .....	115
RF Exposure Warning.....	115
IC: Canadian Compliance Statement.....	116
Canadian Department of Communications Statement.....	116
VCCI: Japan Compliance Statement.....	117
VCCI Class B Statement .....	117
KC: Korea Warning Statement .....	117

RF Equipment Notices.....	117
CE: European Community Compliance Statement .....	117
Wireless Radio Use.....	117
Exposure to Radio Frequency Energy.....	117
FCC Bluetooth Wireless Compliance.....	118
Bluetooth Industry Canada Statement .....	118
BSMI: Taiwan Wireless Statement.....	118
Japan RF Equipment Statement .....	118
KC (RF equipment) .....	118
Optical Drive Safety Information.....	119
Laser Safety Information.....	119
Service warning label.....	119
CDRH Regulations.....	119
ENERGY STAR complied product.....	120
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について .....	120
ASUSコンタクトインフォメーション .....	121
ASUSTeK COMPUTER INC.....	121
ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ) .....	121
<b>ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ、オーストリア)</b> .....	122
ASUS コールセンター (日本) .....	122

## 本ユーザーマニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています

### Chapter 1: ハードウェアと機能

本機のハードウェアコンポーネントについての説明が記載されています。

### Chapter 2: ハードウェアのセットアップ

本機のセットアップ方法についての説明が記載されています。

### Chapter 3: ミニデスクトップ PCを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

### Chapter 4: サポートするオペレーションシステム

オペレーションシステムの使用方法についての説明が記載されています。

### Chapter 5: ASUS Business Manager

ASUS Business Managerの使用方法についての説明が記載されています。

### Chapter 6: BIOS Setup

BIOS Setupメニューを通じてシステムの設定を変更する方法についての説明が記載されています。

### Chapter 7: トラブルシューティング

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

### 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。





## このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

---

**重要:** 作業を完了するために従わなければならない事項です。

---

**注:** 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

---

**警告:** 作業を完了する際、人体への危険を避けるため、また本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない指示です。


---


## 表記

- 太字** = 選択するメニューや項目を表示します。
- <> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

## アイコン

Windows® 8.1 環境でタスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。

 = マウスを使用します。

 = キーボードを使用します。

## 安全上の注意

### ミニデスクトップPCを使用する

- 本機を使用する前に、ユーザーマニュアルを参照し、安全に関する記載をよくお読みください。
- ユーザーマニュアルに記載の警告の内容を読み、指示に従ってください。
- 本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。
- 煙が発生するような環境では、本機を使用しないでください。煙のすすや成分が重要なパーツに付着し、本機に損傷を与えパフォーマンスが低下する恐れがあります。
- 破損した電源コード、アクセサリまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。
- 本機のプラスチックパッケージはお子様やペットの手の届かない場所に保管してください。
- 本機の通気孔に物を置いたりして塞がないでください。本機内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
- 本機の動作電圧と電源の電圧が一致することをご確認ください。

## 本機のお手入れ

- 本機のお手入れをする際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 本機のケースのお手入れの際は、清潔で柔らかい布を水または水で中性洗剤を希釈した物を使用し、その後で柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

## パッケージの内容

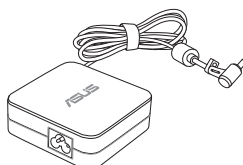
製品パッケージには以下のものが含まれています。



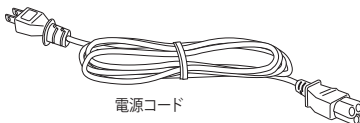
ミニデスクトップ PC E510 Seriesメインボックス



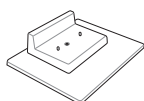
ミニデスクトップ PC E510 Seriesドッキング (オプション)



ACアダプター



電源コード



スタンド



アンテナ



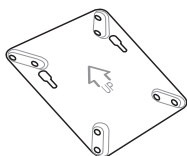
USBブリッジ (オプション)



VESAマウント専用ネジ  
(8mm) ×4



VESAマウント専用ラバーヘッド×4



VESAマウント



12mm ネジ×2



ドライバーDVD\*



取扱説明書

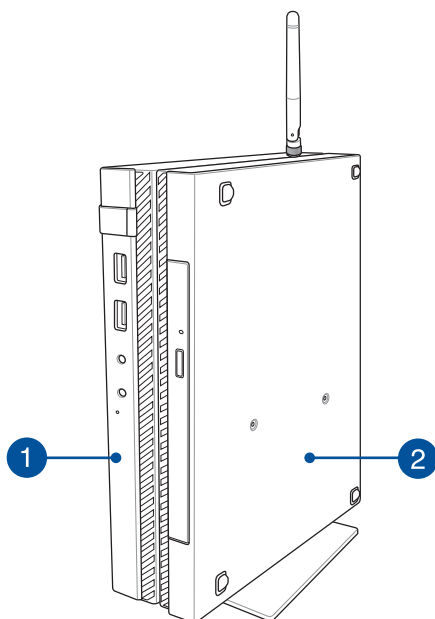
**注:** 実際の製品仕様とパッケージの内容は、モデル及びお買い上げの地域により異なります。

1

# ハードウェアと機能

## 製品の概要

本製品はこれらのデバイスで構成されています。  
メインボックス、ドッキング (オプション)



①

### メインボックス

メインボックスには、オペレーティング システムおよび本機の主なハードウェア周辺機器が含まれています。また、本機に接続する外付けデバイス用のI/Oポートも搭載されています。

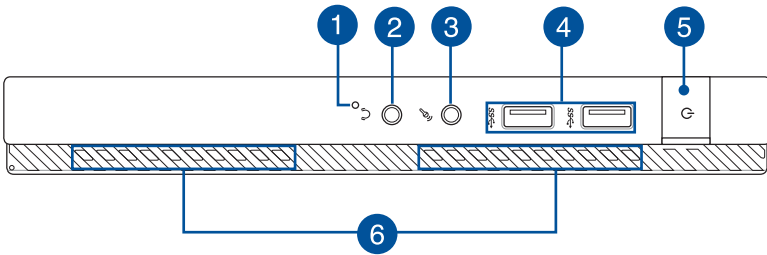
②

### ドッキング (オプション)

ドッキングはオプションのアクセサリです。光学ドライブと外付けデバイス接続用の追加 I/O ポートが搭載されています。

# メインボックス

## 前面



- 1 BIOSキー**

電源投入直後、システムが起動する前にクリップ等の先の尖った物でこのキーを押すと、BIOSを起動することができます。

---

**注:** BIOSの詳細は、「Chapter 6: BIOS Setup」をご参照ください。
- 2 オーディオ出力ジャック**

本機のオーディオ出力信号をアンプやヘッドホンに接続します。
- 3 マイク入力ジャックポート**

外付けマイクの接続、またはオーディオデバイスからの音声を入力するときに使います。
- 4 USB 3.0ポート**

このUSB 3.0ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

## 5 電源ボタン

電源ボタンを押し、本機の電源のオン/オフを切り替えます。また、設定により本機をスリープ/休止状態/シャットダウンに移行することができます。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを最低4秒間押し、強制終了することができます。

## 6 通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

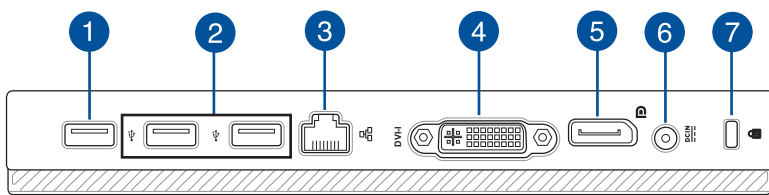
---

**警告:** 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

---



## 背面



### 1 USB 2.0 ポート

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっています。

#### USBブリッジ用USB 2.0ポート\*

このUSB 2.0ポートは、USBブリッジ専用です。USBブリッジをこのポートに接続し、メインボックスとドッキングを接続します。

---

**注:** 詳細は「本機のセットアップ」をご参照ください。

---

### 2 USB 2.0ポート

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっています。

### 3 LANポート

このポートにネットワークケーブルを接続し、ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します。

\* 特定モデルのみ

- 4 **DVI-I ポート**  
DVI-I ポートはHDCP規格に準拠しており、本機をDVI-I 対応デバイスに接続することができます。
- 5 **DisplayPort**  
Mini DisplayPortはDisplayPortデジタルオーディオ-ビジュアルインターフェースの小型規格です。
- 6 **電源入力ポート**  
付属のACアダプターを接続し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。

---

**警告:** ACアダプターは使用中高温になることがあります。使用中は、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

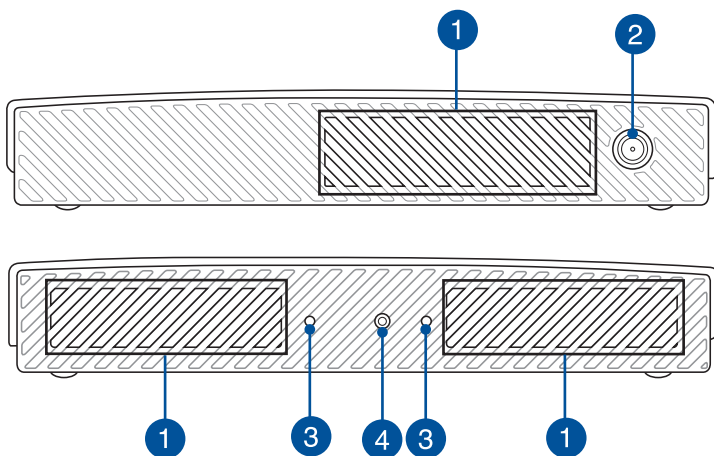
---

**重要:** 本製品付属のACアダプター以外で本機への電力の供給、バッテリーの充電を行わないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。

---

- 7 **Kensington® セキュリティスロット**  
Kensington®互換ノートパソコンセキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

## 側面



1

### 通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。

---

**警告:** 通気孔からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔は絶対に塞がないでください。

---

2

### アンテナコネクター

このコネクターは、本機に同梱のアンテナを接続します。

3

### スタンド用のガイドスロット

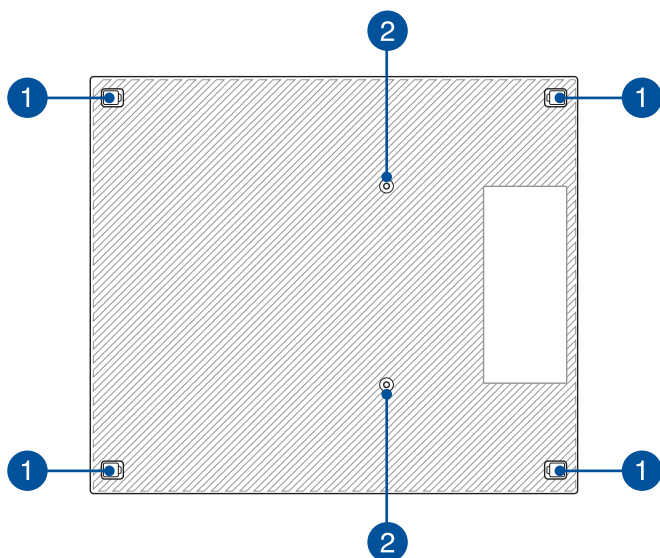
これらのスロットは同梱のスタンドを取り付ける際の目印となります。また、本機を所定の位置にしっかり固定する役割もあります。

4

### スタンド用ネジ穴

このネジ穴は本機にスタンドを取り付け固定する際に使用します。

## 底面



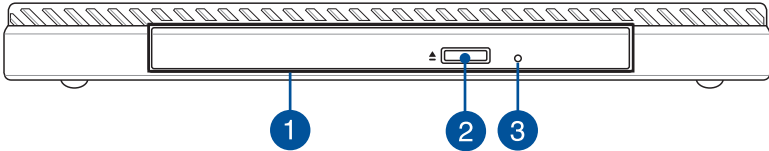
- 1 着脱式ラバーフット**

ラバーフットには本機の底面を下にして設置するとき、本機を傷等から保護し、また本機のケースのネジを保護します。
- 2 オプションのドッキング用ネジ穴**

このネジ穴はオプションのドッキングと本機を接続し固定します。

# ドッキング (オプション)

## 前面



- 1 光学ドライブ**  
CD・DVD・Blu-rayをサポートしたものや、Recordable (R) または、Re-Writable (RW) をサポートしたものがああります。
- 2 光学ドライブ電子イジェクトボタン**  
光学ドライブの取り出しは電子イジェクトボタンにて行います。
- 3 光学ドライブ手動イジェクト用ホール**  
電子イジェクトが利用できないときに使用します。

---

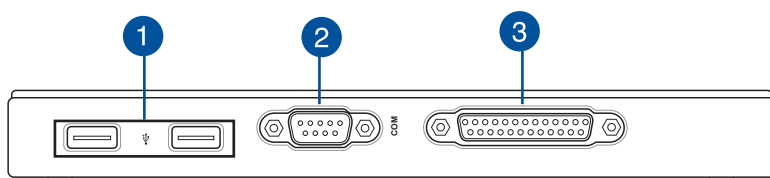
**警告:** イジェクトボタンなどが使用できない場合のみ使用してください。

---

**注:** 製品仕様とパッケージの内容は、モデル及びお買い上げの地域により異なります。

---

## 背面



### 1 USB 2.0ポート

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっています。

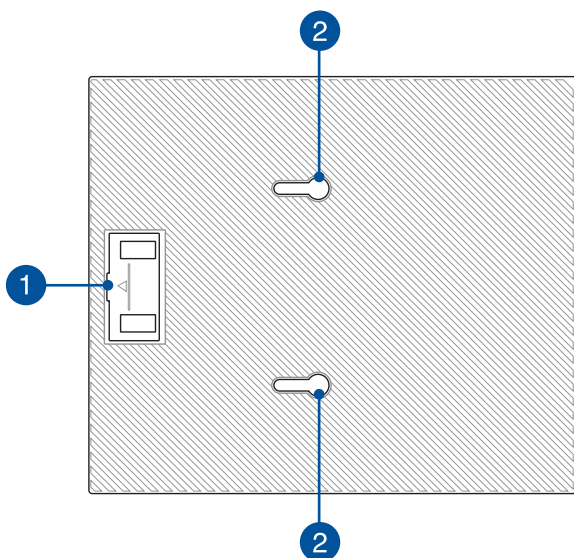
### 2 COMポート

COMポートは、ポインティングデバイスや他のシリアルデバイスを接続します。

### 3 パラレルポート

パラレルポートはプリンターやスキャナーなどのパラレルデバイスを接続します。

## 上面



### ① USBブリッジ収納部

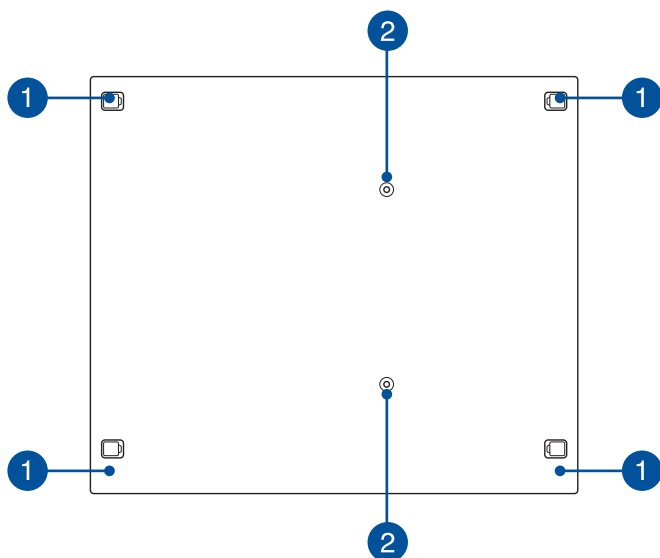
ドッキングを本機のメインボックスに接続する際に使用する同梱のUSBブリッジを収納します。

**注:** 詳細は「オプションのドッキングをメインボックスに接続する」をご参照ください。

### ② メインボックスのラッチ

これらのラッチは、ドッキングをメインボックスを固定する際に使用します。

## 底面



- 1 着脱式ラバーフット**  
ラバーフットには本機の底面を下にして設置するとき、本機を傷等から保護し、また本機のケースのネジを保護します。
- 2 VESAマウント用ネジ穴**  
このネジ穴で本機をVESAマウントに接続し固定します。

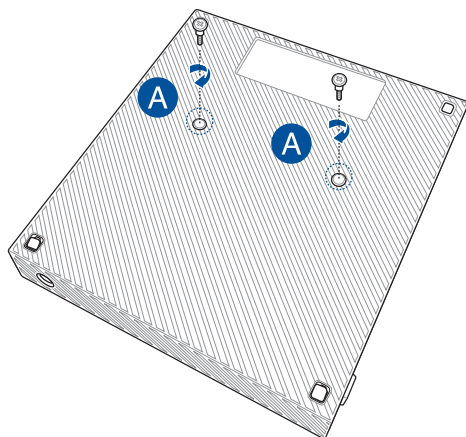


2

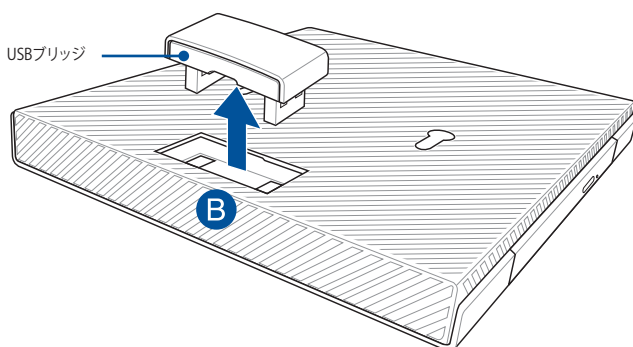
ハードウェアのセットアップ

## オプションのドッキングをメインボックスに接続する

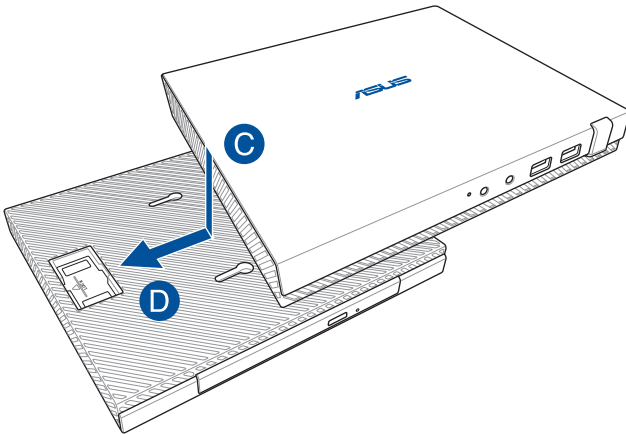
- A. 付属のネジ (×2) をメインボックスの底面のネジ穴に入れます。



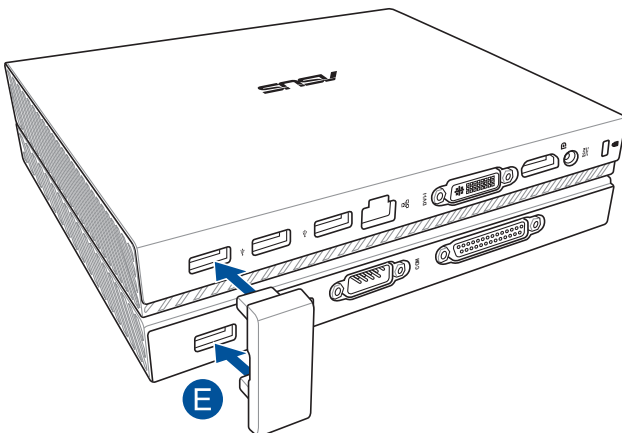
- B. USBブリッジ収納部からUSBブリッジを取り外します。



- C. 位置を確認しながら、メインボックスの底面のネジをドッキング上のメインボックス用ラッチに挿入します。
- D. メインボックスを左方向に慎重に押し、ドッキングにしっかり固定します。



- E. USBブリッジをメインボックスとドッキングのUSB 2.0 ポートにそれぞれ接続します。



## 本機のセットアップ

次の手順で本機のセットアップを行います。

---

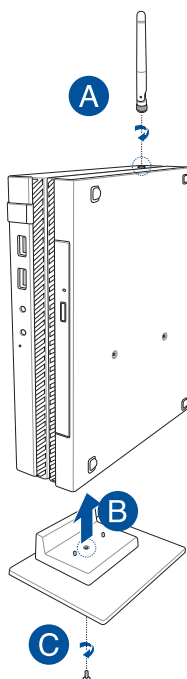
**重要:** ドッキングは本機にオプションのアクセサリです。

---

**注:** 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。

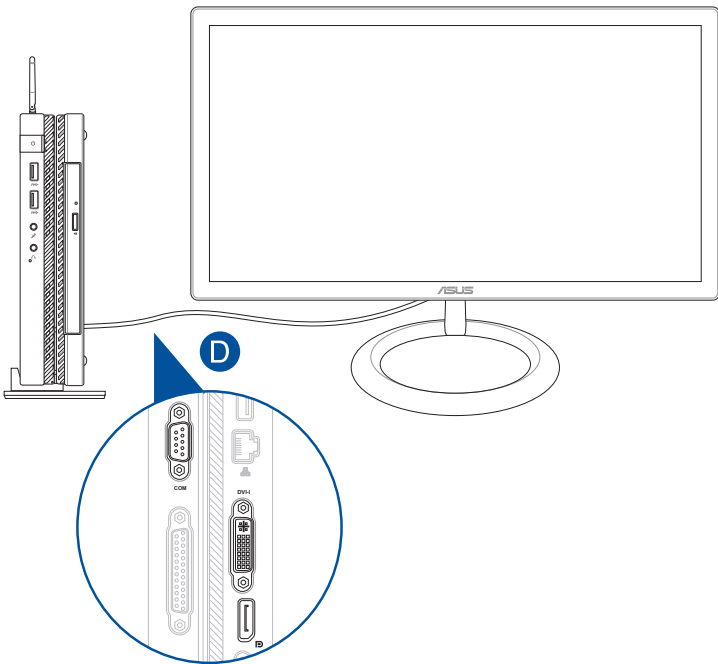
---

- A. メインボックスに付属のアンテナを接続します。
- B. メインボックスにスタンドを取り付けます。
- C. 付属のネジをスタンドに挿入し、本機に固定します。



D. 本機にディスプレイパネルまたはプロジェクターを接続することができます。サポートしている接続タイプは次のとおりです。

- DisplayPortコネクタ
- COMコネクタ
- DVI-I コネクタ

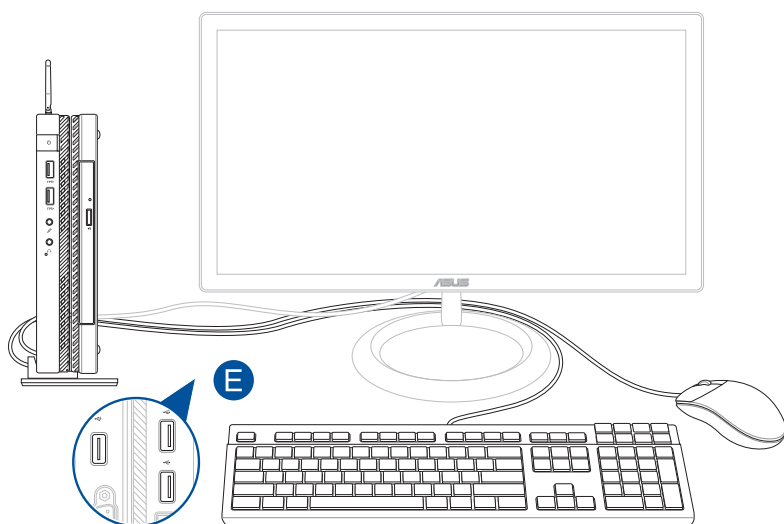


- E. キーボードとマウスを本機に接続します。また、ワイヤレスキーボード/マウス用のUSB dongleを接続することができます。

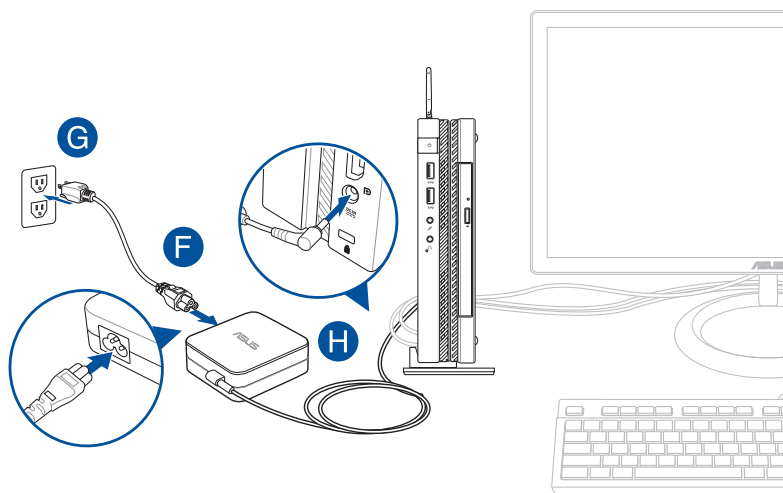
---

**注:** 取り付け方法は、ワイヤレスキーボード/マウスの取扱説明書をご参照ください。

---



- F. 電源コードをACアダプターに接続します。
- G. ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。
- H. 電源コネクターを本機の電源入力ポートに接続します。



---

**重要:**

- 本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。
  - 本機の使用中は、壁面などの固定電源コンセントの電源の使用をお勧めします。本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
  - 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機の電源コードを抜いてください。
- 

**注:**

## ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
  - 入力周波数: 50-60Hz
  - 定格出力電流: 3.42A (65W)
  - 定格出力電圧: 19V
-

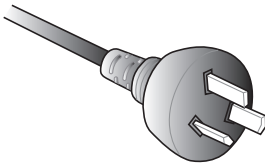


## AC電源コードの要件

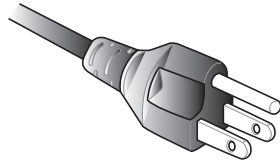
お住まいの地域に適切なACプラグのタイプをご使用ください。

**重要:** 本製品に同梱されているAC電源ケーブルのプラグの形状がお住まいの地域のコンセントと一致しない場合は、販売店にお問い合わせください。

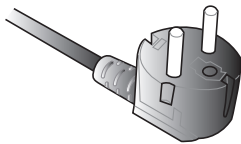
**注:** 入力電圧の変動による信号の干渉を防ぐため、接地タイプのプラグを採用したデバイスの使用を強くお勧めします。



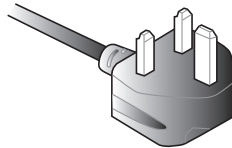
オーストラリアおよび中国



アメリカ合衆国、カナダ、台湾



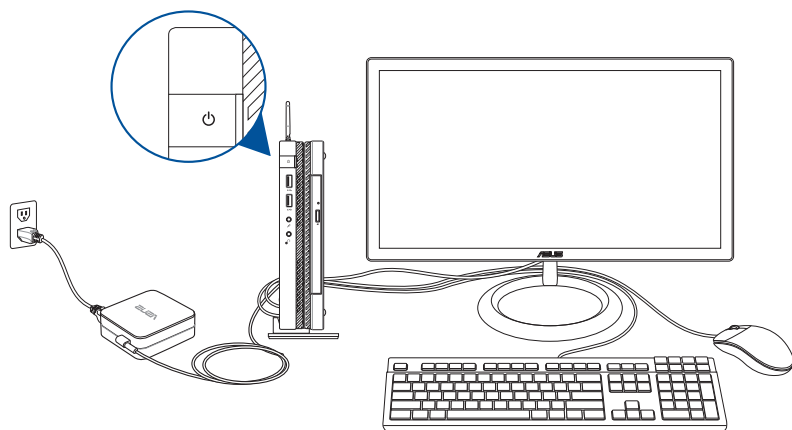
ヨーロッパ



イギリス

## 電源をオンにする

このボタンを押すと電源がオンになります。

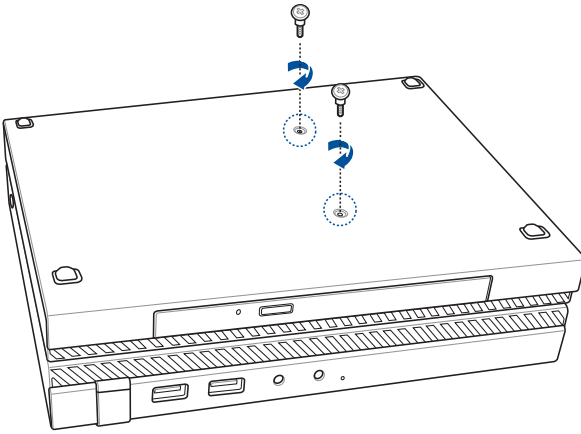


## VESAマウントの使用 (オプション)

本製品にはVESAマウントプレートが付属しており、本機をVESAマウント対応デバイスに取り付けることができます。

### 手順

1. 本機を水平で安定した場所に置きます。
2. 付属の12mmネジ (×2) をドッキングの底面のネジ穴に入れます。

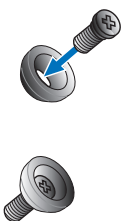


---

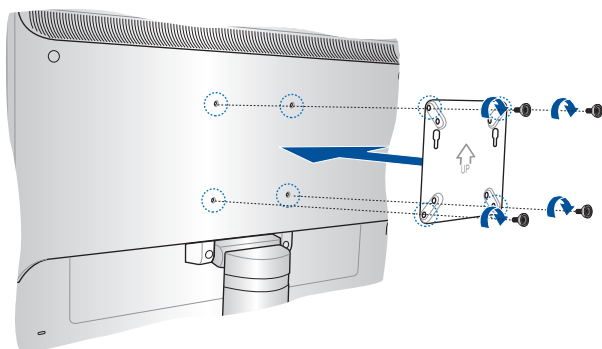
**警告:** 製品損傷の原因となる恐れがありますので、ネジを締めすぎないようにしてください。

---

3. 8mmネジ (×4) をラバーワッシャー (×4) に挿入します。



4. 必要に応じ、VESAマウント対応デバイスのバックパネルのネジ穴カバーを取り外します。
5. VESAマウントプレート上の矢印が上方向を向くよう、ネジ穴とVESA対応デバイスのネジ穴の位置を合わせます。
6. ラバーワッシャー付きネジでVESAマウント用プレートをVESAマウント対応デバイスに固定します。

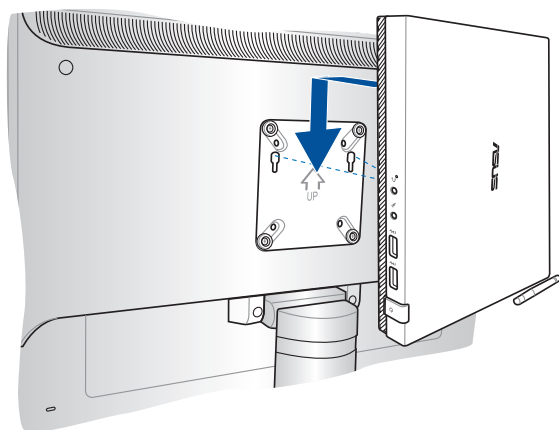


---

**警告:** VESAマウント対応デバイスの損傷の原因となる恐れがありますので、ネジを締めすぎないようにしてください。

---

7. 本機に取り付けた2本のネジをVESAマウントプレートのマウント用の穴に挿入し、慎重に本機を所定の位置まで押し下げて設置します。





# 3

ミニデスクトップPCを使用する

## ミニデスクトップPCを使用する際の正しい姿勢

本機を使用する際は、手や手首、肘、筋肉等の肉体疲労を軽減するため、正しい姿勢を維持するよう心がけてください。

本セクションでは肉体疲労の軽減とケガを防止するためのアドバイスを記載しました。





## 正しい姿勢の維持

- 椅子の高さはタイピングがし易いよう、肘の高さがキーボードと同じかやや上になるように調節します。
- 椅子の高さは大腿部が張らないよう、膝の高さが腰より高くなるように調節します。必要に応じ、フットレストを使用し高さを調節します。
- 椅子の背もたれは、背中をしっかりと支え、背中がわずかに後方にもたれるよう調節します。
- コンピューター使用時は膝、肘、腰を直角にした状態で背筋を伸ばして座ります。
- ディスプレイは目の前に設置し、ディスプレイ画面の上部の高さを、視線がわずかに下向きになるよう調節します。
- マウスをキーボードの近くに置き、必要に応じて、タイピング時の手首への圧力を軽減するためリストレストを使用します。
- 適切な明るさの環境で本機を使用します。窓際や日光が直接当たる場所での使用は避けます。
- 定期的に休憩を取りながら本機を使用します。



4

サポートする  
オペレーションシステム

# Windows® 7環境で使用する

## 初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 7 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

### 手順

1. 本機の電源をオンにします。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. ドロップダウンリストから「**国または地域**」、「**時刻と通貨の形式**」と「**キーボード レイアウト**」を選択した後、「**次へ**」をクリックします。
- 3 ユーザー名と本機の名前を作成し、「**次へ**」をクリックします。
4. 必要な情報を入力してパスワードを設定し、「**次へ**」をクリックします。「**次へ**」をクリックし、この手順をスキップすることもできます。

---

**注:** アカウント用のパスワードを後で設定する場合は、「ユーザーアカウントとパスワードを設定する」をご参照ください。

---

4. ライセンス条項を読みます。「**ライセンス条項に同意します**」をチェックし、「**次へ**」をクリックします。
5. 「**推奨設定を使用します**」または「**重要な更新プログラムのみインストールします**」を選択し、セキュリティ設定を行います。この手順をスキップするには、「**後で確認します**」を選択します。
6. 日付と時刻の設定、ワイヤレスネットワークへの接続を確認します。「**次へ**」をクリックします。

---

**注:** ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

---

## スタートメニュー

スタートメニューでは、プログラムやユーティリティ等の便利なツールを起動することができます。


### スタートメニューから項目を起動する

1. Windows®タスクバーで  をクリックします。
2. スタートメニューで起動したい項目を選択します。

### 「はじめに」を使用する

スタートメニューの「はじめに」オプションには、Windows®のカスタマイズやユーザーの追加、ファイルの転送等の基本的なタスクに関する情報が含まれています。

手順

1.  をクリックします。
2. スタートメニューから、「はじめに」を選択します。
3. 利用可能なタスクのリストから、実行したいタスクを選択します。

## タスクバーを使用する

タスクバーでは、本機にインストールされたプログラムや項目を起動し、管理することができます。

### タスクバーからプログラムを起動する

Windows®のタスクバーから、起動するプログラムのアイコンをクリックします。プログラムを非表示にするには、もう一度アイコンをクリックします。

### ジャンプリスト上の項目をピン留めする

タスクバーのアイコンを右クリックすると、ジャンプリストが表示され、関連リンクに簡単にアクセスすることができます。お気に入りのウェブサイトや頻繁に開くフォルダーやドライブ、最近再生したメディアファイルなどをジャンプリスト上の項目としてピン留めすることができます。

手順

1. タスクバーの任意のアイコンを右クリックします。
2. ジャンプリストから、ピン留めしたい項目を右クリックし、「**いつも表示する**」を選択します。

### ジャンプリスト上の項目のピン留めを外す

1. タスクバーの任意のアイコンを右クリックします。
2. ジャンプリストからピン留めを解除したい項目を右クリックし、「**いつも表示するものから外す**」を選択します。

## 通知領域を使用する

デフォルト設定では、通知領域には次の3つのアイコンが表示されます



### アクションセンター通知

このアイコンをクリックすると、すべてのアラートと通知が表示されます。また、Windows®セキュリティセンターが起動します。



### ネットワーク接続

有線/無線ネットワーク接続の接続状況や信号の強さが表示されます。



### ボリューム

このアイコンをクリックすると、本機の音量を調整することができます。

## アラート通知の表示

アラート通知を表示するには、 をクリックし、メッセージをクリックします。

---


**注:** 詳細は、「Windows 7 Action Centerを使用する」をご参照ください。

---

## アイコンと通知のカスタマイズ

タスクバーまたは通知領域上のアイコンと通知を表示/非表示にすることができます。


手順

1. 通知領域の  をクリックします。
2. 「**カスタマイズ**」をクリックします。
3. カスタマイズするアイコンや項目に対して、ドロップダウンリストから動作を選択します。

## Windows®エクスプローラーを使用する

Windows®エクスプローラーは、ファイルやフォルダの表示、管理、および整理を行います。


### Windows®エクスプローラーを起動する

 をクリックしてスタートメニューを起動し、「**コンピューター**」をクリックします。

### ファイルやフォルダーの検索

1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. ナビゲーションまたはビューペインから、データーの保存場所を参照します。
3. 階層リンクバーにある矢印をクリックすると、ドライブやフォルダーの内容が表示されます。

### ファイルまたはフォルダービューのカスタマイズ

1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. データーの保存場所を選択します。
3.  をクリックします。
4. 表示メニューでスライダーを移動し、ファイルやフォルダーを表示する方法を選択します。

### ファイルの配置

1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. ビューペインの任意の場所を右クリックします。
3. 表示されるメニューで「**並べ替え**」を選択し、希望の整列のタイプを選択します。



## ファイルの分類

1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. ビューペインの任意の場所を右クリックします。
3. 表示されるメニューで「**並べ替え**」を選択し、希望の並べ替えのタイプを選択します。

## ファイルグループで表示


1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. ビューペインの任意の場所を右クリックします。
3. 表示されるメニューで「**グループで表示**」を選択し、希望のグループタイプを選択します。

## 新しいフォルダーを追加する

1. Windows®エクスプローラーを起動します。
2. ツールバーで「**新しいフォルダー**」をクリックします。
3. 新しいフォルダー用の名前を入力します。

## ファイルのバックアップ

### 手順

1.  → 「すべてのプログラム」 → 「メンテナンス」 → 「バックアップと復元」の順にクリックします。
2. 「バックアップの設定」 → 「次へ」の順にクリックします。
3. バックアップ先を選択し、「次へ」をクリックします。
4. 選択して「自動選択 (推奨)」または「自分で選択する」を選択します。

---

**注:** 「自動選択 (推奨)」を選択した場合は、プログラム、FATフォーマットのファイル、ごみ箱内のファイル、1GB以上の一時ファイルはバックアップされません。


---

5. 画面上の指示に従って作業を完了します。

## システム設定の復元

システム復元機能では復元ポイントを作成し、定期的にシステム設定を保存します。個人データに影響を与えることなく、システム設定の変更を復元したり、元に戻したりすることができます。


### 手順

1. 実行中のすべてのアプリケーションを終了します。
2.  → 「すべてのプログラム」 → 「アクセサリ」 → 「システムツール」 → 「システムの復元」の順にクリックします。
3. 画面上の指示に従って作業を完了します。

## Windows 7 Action Centerを使用する

Windows® 7 Action Centerでは、アラート通知やセキュリティ情報、システムメンテナンス情報、トラブルシューティング等がご利用いただけます。


### Windows® 7 Action Centerを起動する

1.  → 「**アクション センターを開く**」をクリックします。
2. 実行したいタスクをクリックします。

## Windows® Updateを使用する

Windows® Updateでは、最新の更新をチェックしダウンロードすることで、本機のセキュリティとパフォーマンスを強化することができます。


### Windows® Updateの起動

1.  をクリックし、スタートメニューを起動します。
2. 「**すべてのプログラム**」→ 「**Windows Update**」の順に選択します。
3. 実行したいタスクをクリックします。

## ユーザーアカウントとパスワードを設定する

本機を使用する別のユーザー用にユーザーアカウントとパスワードを作成することができます。

ユーザーアカウントを作成する


1.  → 「はじめに」 → 「新しいユーザーをコンピューターに追加」 → 「新しいユーザーを追加します」の順にクリックします。
2. 「別のアカウントの管理」を選択します。
3. 「新しいアカウントの作成」を選択します。
4. ユーザー名を入力します。
5. 「標準ユーザー」または「管理者」のいずれかを選択します。
6. 完了したら「アカウントの作成」をクリックします。

パスワードを作成する

1. パスワードを設定したいユーザーを選択します。
2. 「パスワードの作成」を選択します。
3. ご希望のパスワードを入力し、確認します。
4. パスワードのヒントを入力します。
5. 完了したら、「パスワードの作成」をクリックします。

## Windows®ヘルプとサポートを使用する

Windows®ヘルプとサポートは、Windows® 7に含まれるアプリケーションの使用方法や説明を提供します。

Windows® ヘルプとサポートを起動するには、 → 「メンテナンス」 → 「ヘルプとサポート」の順にクリックします。

---

**注:** 最新のWindows®オンラインヘルプを表示するには、インターネットに接続してください。

---

## Microsoft Windows® 8.1 でのダウングレードについて

- 本製品にはWindows® 7 Professionalがプリインストールされており、またWindows® 8.1のライセンスとメディアも含まれています。使用できるWindows® OSは1つだけです。OSバージョンを切り替える場合は、使用中のバージョンをアンインストールし、他のバージョンをインストールする必要があります。
- Windows® 7 Professionalにダウングレードできるよう、本システムのBIOS設定はレガシーBIOSモードで起動するように変更されています。インストールの前にBIOS設定がネイティブUEFIモードに変更されていない場合、Windows® 8.1がインストールされます。ただし、次のWindows® 8.1の機能はUEFIモードでの起動が必要であるため、有効になりません。
  - Secure Boot
  - Seamless Boot
  - Trusted Platform Module (TPM) 搭載のシステムでのBitlocker ネットワーク解除機能
  - eDriveのサポート

---

### 重要:

- 本機にはWindows® 7 Professionalがプリインストールされています。Windows® 8.1 にアップグレードすると、Windows® 7 Professional上のデータはすべて削除されます。
  - 本機の製品パッケージにWindows® 7 Professional用のリカバリーDVDが含まれていない場合は、Windows® 8.1をインストールする前に、バックアップを作成してください。
  - Windows® 8.1でのシステムリカバリーの詳細は、ユーザーマニュアルをご参照ください。
-

## OSをWindows® 8.1 Proに変更する

1. 本機の電源をオンにします。POST実行中に<F2>または<Delete>を押し、BIOSを起動します。

**注:** Windows® 8.1 ProでBIOSを起動する手順は、ユーザーマニュアルをご参照ください。

2. Windows® 8.1 Pro Recovery DVDを光学ドライブに入れます。

**注:** 光学ドライブ非搭載モデルでは、別途、USBタイプの光学ドライブをご用意ください。

3. BIOS Setupで<F5>を押し、「**Yes**」を選択しシステムデフォルト設定を読み込みます。

4. 「**Boot**」→「**Secure Boot Menu**」を開き、「**OS Type**」の値を「**Other OS**」から「**Windows UEFI mode**」に変更します。

**注:** モデルにより、手順3のシステムデフォルト設定の読み込みにより既に設定が変更となっている場合もあります。

5. <F10>を押し「**Yes**」を選択し、変更を保存します。

**注:** <F10>を押し「**Yes**」を選択するとPCが再起動します。

6. PCが再起動したらすぐに<F8>を押します。BBS <BIOS Boot Specification>に表示されたデバイス一覧からUEFI: 「**DVD Boot デバイス名**」を選択します。この選択画面では、キーボードの操作のみが有効です。

**注:** 起動可能なディスクが挿入されていない場合、BBSのデバイス一覧に光学ドライブが出現しません。

7. 「**Press any key to boot from CD or DVD....**」のメッセージが表示されたら、間髪を入れずに任意のキーを押します。

**注:** リカバリープロセスが起動せずにUEF BIOSが開いてしまう場合、本マニュアルの手順3からやり直してください。

8. 「**ASUS Recovery Tool**」のライセンス条項をよくお読みください。同意する場合は「**I Agree**」にチェックを入れて「**Accept**」を選択し、作業を続行します。
9. 「**Please choose 'No' to continue or 'Yes' to stop.**」のメッセージで「**いいえ**」を選択します。
10. 「**キーボードレイアウトの選択**」で適切なキーボードレイアウトを選択し、次の手順に進みます。

---

**注:** 日本語OSのリカバリーでは「**Microsoft IME**」を選択します。

---

11. 「**トラブルシューティング**」→「**PCを初期状態に戻す**」→「**次へ**」の順に進みます。
12. 「**PCを初期状態に戻す**」のオプションで「**はい、ドライブのパーティション分割をやり直します**」→「**ファイルの削除のみ行う**」または「**ドライブを完全にクリーンアップする**」→「**初期状態に戻す**」の順に選択します。インストールが完了するまでしばらく時間がかかります。

---

**注:** 「**ドライブを完全にクリーンアップする**」を選択するとHDD全体にローレベルフォーマットを実施するためより多くの時間がかかります。

---

13. 画面の指示に従って基本設定を行います。基本設定が完了すると、Windows® 8.1 Proのデスクトップ画面が起動します。

---

**注:** Windows® 8.1 Proをスタート画面で起動したい場合は、本機ของผู้사용자手册で「スタート画面をカスタマイズする」のページをご参照ください。

---

14. 各種ドライバーやアプリケーションをインストールするには、ASUSオフィシャルサポートサイトからお使いの型番のドライバーなどダウンロードのうえ、インストールしてください。  
(<http://www.asus.com/jp/support>)

---

**重要:**

- F9リカバリー機能はダウングレードモデルのWindows 8.1 Proには搭載されていません。OSの不具合が発生した場合、システムのメンテナンスに付属のRecovery DVDが必ず必要になります。
- Windows上から「**PCをリフレッシュする**」や「**すべてを削除してWindowsを再インストールする**」を実施する場合も付属のRecovery DVDが必要となります。
- OSを完全にリカバリーする際は、事前にデータをバックアップしてください。
- モデルによっては、各種ドライバーやアプリケーションなどがインストールされたメディアが別途同梱されている場合があります。その場合は、そちらを使用して、各種ドライバーやアプリケーションなどをインストールしてください。

---

**注:** ASUS公式サイトでは本マニュアルの多言語版を公開しております。

(<http://www.asus.com/jp/support>)

---



# Windows® 8.1環境で使用する

## 初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 8.1 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

手順

1. 本機の電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. セットアップ画面で本機で使用したい言語と地域を選択します。
3. ライセンス条項を読み、内容を確認します。「**同意します**」を選択します。
4. 画面上に指示に従い、次の各基本設定を行います
  - パーソナル設定
  - オンラインに接続
  - 設定
  - お使いのアカウント
5. 基本設定が完了すると、チュートリアルが表示されます。
6. セットアップが完了すると、スタート画面が表示されます。

---

**注:** ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

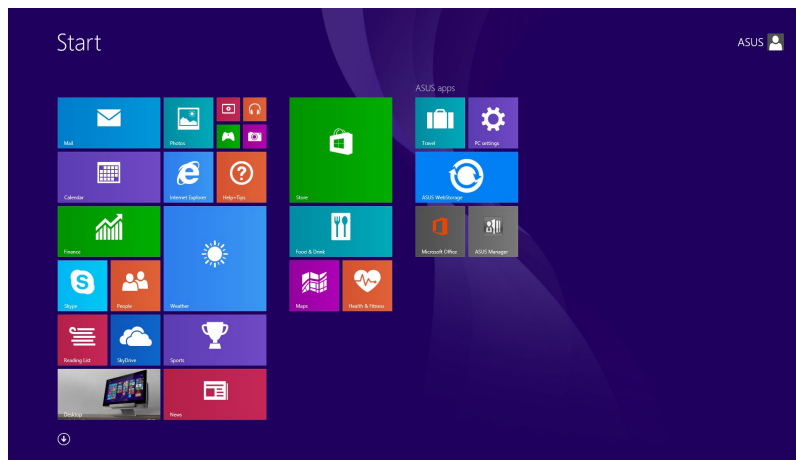
---

## Windows® UI

Windows® アプリはWindows®8.1で使用されるタイル表示のユーザーインターフェースで、スタート画面から簡単にアクセス可能です。また、次のような本機での作業で使用できる機能が含まれています。

### スタート画面

Windows®にサインイン後に表示され、Windows®アプリが表示されます。



### Windows® アプリ

これらアプリはスタート画面にピン留めされており、タイル形式で表示されます。

**注:** 特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。




## ホットスポット 操作

**左上**                      マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。


---

複数のアプリを起動した状態で、下方向にスライドすると、起動しているアプリが表示されます。


---

**左下**                      起動中のアプリ画面から：  
マウスのポインターをこの位置まで移動し、 をクリックすると、スタート画面に戻ります。

---

**注:** キーボードのWindows®キー  を押してもスタート画面に戻ることができます。

---

スタート画面から：  
マウスのポインターをこの位置まで移動し、 をクリックすると、最後に使用した起動中のアプリに戻ります。

---

**上部**                      マウスのポインターを上側に移動します。アプリをドラッグ&ドロップし、別の場所へ移動することができます。

---

**注:** このホットスポット機能は起動中のアプリ、またはスナップ機能を使用する場合にのみ動作します。詳細は「Windows®アプリと一緒に使用する」の「スナップ機能」をご参照ください。

---

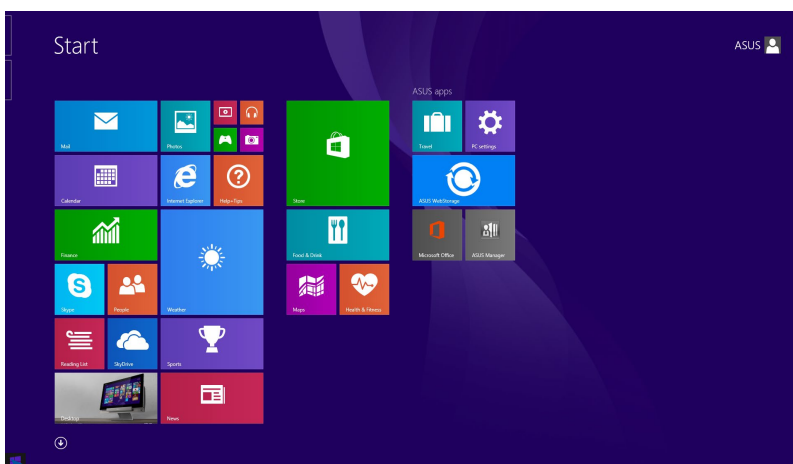
**右上、右下**              マウスのポインターをこの位置まで移動すると、チャームバーが起動します。

## スタートボタン

Windows® 8.1 のスタートボタンを使用すれば、最近使用したアプリとスタート画面での切り替えが可能です。スタート画面、デスクトップ画面、起動中のアプリ画面の左下にマウスのポインターを置くと、スタートボタンが表示されます。

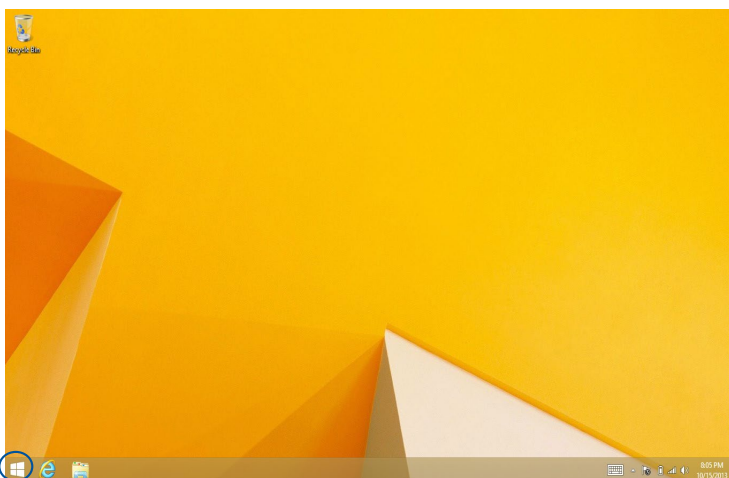
### スタート画面のスタートボタン

**注:** スタートボタンの実際の色は、スタート画面のディスプレイ設定によって異なります。



スタート画面、デスクトップ画面、起動中のアプリ画面の左下にマウスのポインターを置くと、スタートボタンが表示されます。

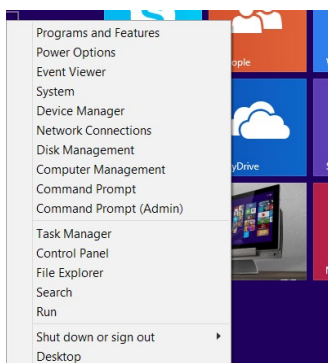
## デスクトップモードのスタートボタン



## クイックリンク

コンテキストメニューはWindows® 8.1内の特定のプログラムに簡単にアクセスすることができます。

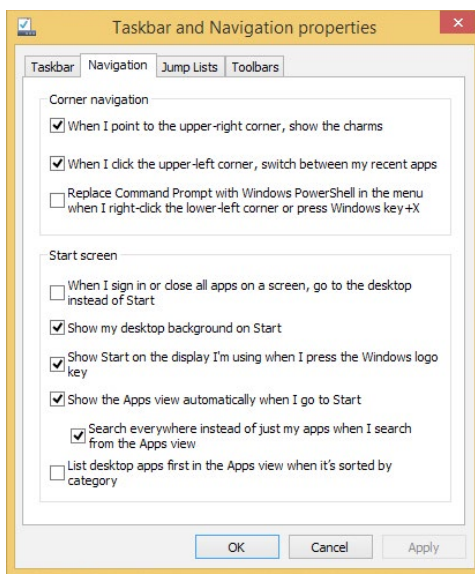
また、次のようなシャットダウンオプションが用意されています。  
サインアウト、スリープ、シャットダウン、再起動



## スタート画面をカスタマイズする

### 手順

1. デスクトップモードを起動します。
2. タスクバー上のアイコンなどが表示されていない場所で右クリックし、ポップアップウィンドウを起動します。タッチ操作の場合は、長押しをタップをし、ポップアップウィンドウを起動します。
3. 「プロパティ」をクリックし、「ナビゲーション」タブを選択し、ナビゲーションとスタート画面のオプションから使用したいものを選択します。



4. 「適用」をクリックし設定を保存し画面を閉じます。

## Windows®アプリと一緒に使用する


オプションのマウスまたはキーボードでアプリの起動と終了、カスタマイズを行います。

### アプリの起動



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、左クリック、またはタップして起動します。



とカーソルキーでアプリを選択します。  を押して起動します。

### アプリのカスタマイズ

スタート画面上でアプリの移動、サイズ変更、ピン留めの解除、アプリの終了を行うことができます。次の手順で行います。

#### アプリの移動



アプリをダブルクリックし、目的の場所までドラッグします。

#### アプリのサイズ変更



アプリ上を右クリックし、カスタマイズバーを有効にし、「**サイズを変更する**」をクリックします。



## アプリのピン留めの解除



アプリ上を右クリックしカスタマイズバーを有効にし、「スタート画面からピン留めを外す」をクリックします。

## アプリの終了



1. 起動したアプリの上側にマウスのポインターを当て、ポインターが手のアイコンになるまで待ちます。
2. アプリを画面下までドラッグ&ドロップし、アプリを終了します。

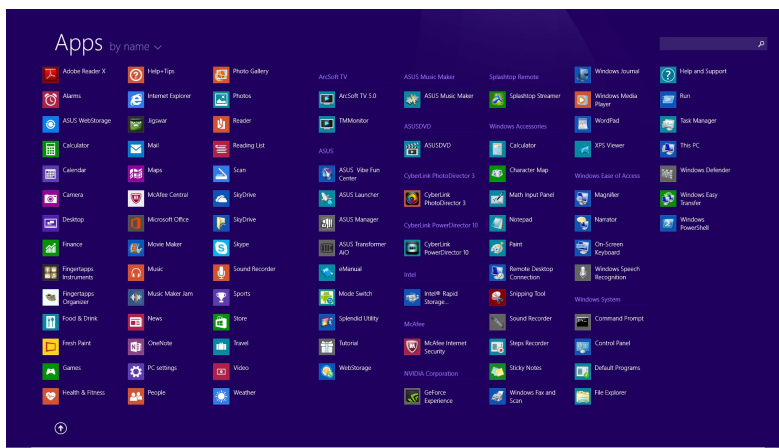


終了させるアプリの画面から  +  を押します。

## すべてのアプリ画面へのアクセス

スタート画面にピンされたアプリ以外にも、本機に搭載のASUSアプリ等、他のアプリをすべてのアプリ画面から起動することができます。

**注:** 実際に表示されるアプリは、モデルによって異なる場合があります。本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。



## すべてのアプリの起動

次のオプションを使用して、アプリ画面を起動します。



スタート画面で、 ボタンをクリックします。



スタート画面から  を押し、 を押します。

## スタート画面へのアプリの追加

次の手順でスタート画面にアプリを追加することができます。



1. 「すべてのアプリ」画面を開きます。
2. スタート画面に追加したいアプリを右クリックします。
3. 「**スタート画面にピン留めする**」をクリックし、選択したアプリをスタート画面に追加します。

## チャームバー

チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリの共有などの操作やPCのカスタマイズ設定へ簡単にアクセスすることができます。



チャームバー

## チャームバーのコンテンツ



### 検索

PC内のファイルやアプリ、プログラムを検索します。



### 共有

ソーシャルネットワークサービス (SNS) やメールなどを使用し、アプリを共有します。



### スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。



### デバイス

外付けモニターやプリンター等、本機に接続したデバイスに関する操作を行います。

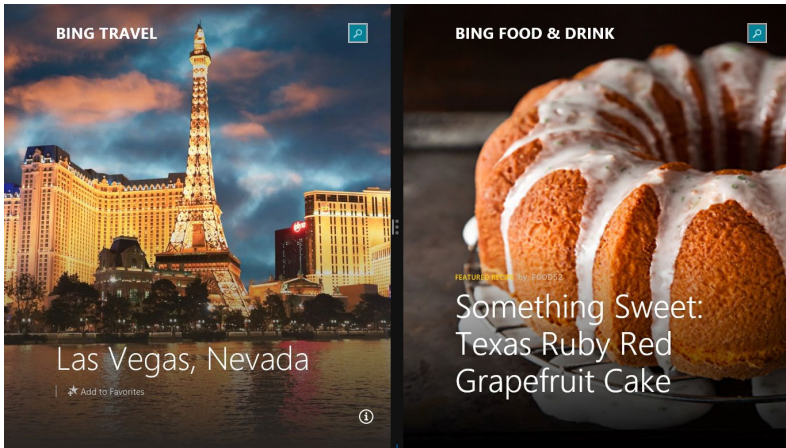


### 設定

本機の各種設定を行います。

## スナップ機能

パソコン上で2つのアプリケーションを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。



スナップバー


## スナップを有効にする

次のオプションのいずれかを実行し、スナップ機能の起動と操作を行います。



1. スナップするアプリを起動します。
2. マウスのポインターを画面の上側に移動します。
3. ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ&ドロップします。
4. 他のアプリを起動します。



1. スナップするアプリを起動します。
2.  と左または右矢印キーを押し、アプリを左または右画面にスナップ表示します。
3. 他のアプリを起動します。このアプリは自動的に空のペインに配置されます。

## その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows®8.1の操作が可能です。



スタート画面と最後に使用した起動中のアプリを切り替えます。



デスクトップを起動します。



デスクトップモードで「コンピューター」ウィンドウを起動します。



検索チャームから「ファイル」オプションを開きます。



共有チャームを開きます。



設定チャームを開きます。



デバイスチャームを開きます。

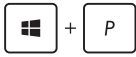


ロック画面を有効にします。



アクティブウィンドウを最小化します。





「表示」画面を開きます。



検索チャームから「すべての場所」オプションを開きます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。



「コンピューターの簡単操作センター」を開きます。



検索チャームから「設定」オプションを開きます。



スタートボタンのコンテキストメニューを開きます。

## インターネットへの接続

有線/Wi-Fi 接続により、本機または本機からメールボックスへのアクセス、インターネットサーフィン、ソーシャルネットワークサイトのアプリの共有が可能です。


### Windows® 8.1でWi-Fi接続をセットアップする

1. スタート画面または任意のアプリケーションモードからチャームバーを起動します。

---

**注:** 詳細は「Windows® アプリと一緒に使用する」の「チャームバー」をご参照ください。

---

2. チャームバーの「**設定**」を選択し、ネットワークアイコン  をクリックします。
3. リストから接続する無線ネットワークを選択します。
4. 「**接続**」をクリックします。


---

**注:** セキュリティキーの入力を求められたら、入力してください。

---

## 本機の電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機をシャットダウンします。

- チャームバーを起動し、 → 「シャットダウン」をクリックし、通常のシャットダウンを行います。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了することができます。

## スリープ状態にする

次のいずれかの手順で本機をスリープ状態にします

- 電源ボタンを1度押します。
- デスクトップモードを起動し、<Alt> + <F4> を押し、シャットダウンメニューを開きます。ドロップダウンリストから「スリープ」を選択し、「OK」を選択します。

## Windows®8.1 ロック画面

Windows®8.1 ロック画面はスリープまたは休止状態から復帰すると表示されます。また、Windows®8.1をロックしたときにも表示されます。

ロック画面をカスタマイズすることができます。システムがロックされていても、背景のスライドショーや特定のアプリをバックグラウンドで実行し、簡易ステータスを表示することが可能です。



### ロック画面の解除

1. マウスでクリックする、または本機のキーボードの任意のキーを押します。
2. アカウントがパスワードで保護されている場合、パスワードを入力してスタート画面を起動します。

## ロック画面をカスタマイズする

ロック画面をカスタマイズし、選択した画像やスライドショーの表示や、アプリの更新の表示、内蔵カメラの起動が可能です。ロック画面の設定を変更する際は、次の記載をご参照ください。

### 画像の選択

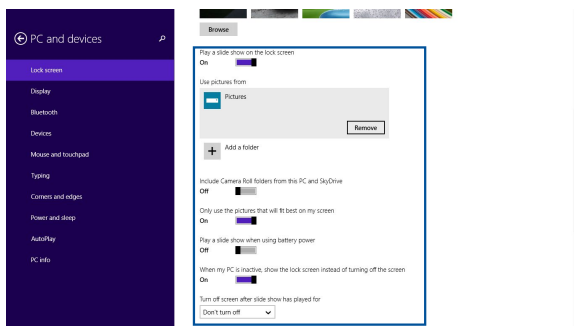


1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 「ロック画面のプレビュー」で「参照」をクリックし、ロック画面の背景として使用する画像を選択します。

### スライドショーの再生



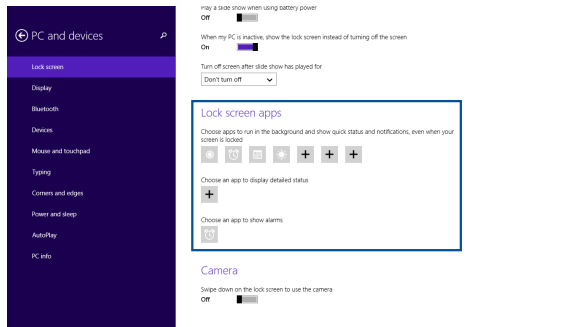
1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 「ロック画面のプレビュー」で、「ロック画面でスライドショーを再生する」のスライダーをスライドし、「オン」にします。



## 表示するアプリを追加する



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 画面を下方方向にスクロールし、「ロック画面に表示するアプリ」オプションを表示します。
4. ステータスをロック画面に表示させたいアプリを追加します。



## ロック画面からカメラを起動する

ロック画面を下方方向になぞることで、本機のカメラ機能を有効にすることができます。以下の手順で有効にします。



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 画面をスクロールし「カメラ」オプションを表示させます。
4. スライダーをスライドし「オン」にします。

5

**ASUS Business Manager**

## ASUS Business Manager

ASUS Business Managerでは、本機をカスタマイズするための各種ツールをご用意しています。

### ASUS Business Managerをインストールする

1. 光学ドライブにSDVDを挿入します。
2. サポートCDウィンドウで、「**Utilities**」→「**ASUS Business Manager**」の順にクリックします。



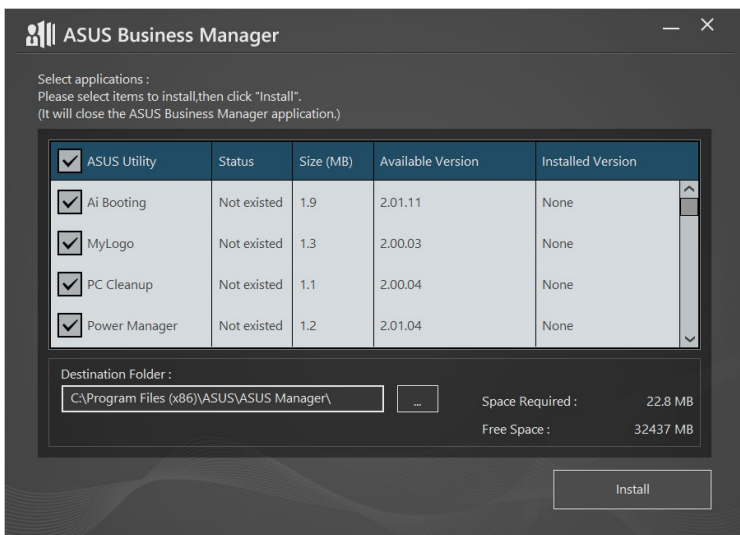
---

#### 注:

- SDVDが付属されないモデルの場合にはASUS公式サイトからASUS Business Managerをダウンロードしてください。
  - ASUS Business Managerの機能は予告なく変更される場合があります。
  - 光学ドライブ非搭載モデルの場合には外付けドライブをご用意頂き、利用してください。
-



- ASUS Business Managerのセットアップ画面でインストールするアプリを選択します。




- 「インストール」をクリックします。
- インストールが終了すると、システムを再起動するよう求められます。

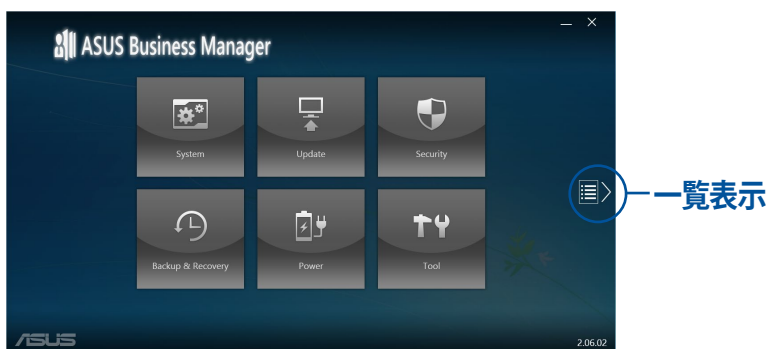
## ASUS Business Managerを使用する

スタートメニューから「Start」→「ASUS」→「ASUS Business Manager」の順にクリックし、ASUS Business Managerを起動します。

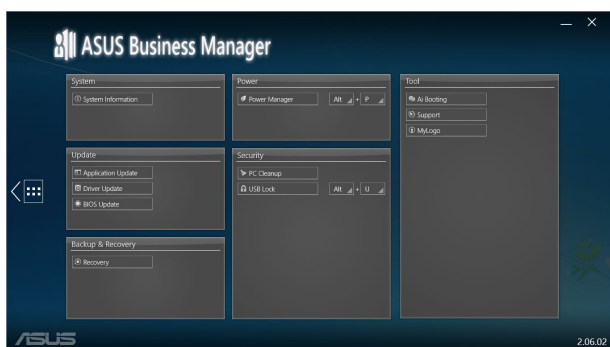
### アイコン表示と一覧表示

ASUS Business Manager内の全てのアプリを表示する際、 をクリックして表示形式をアイコン表示と一覧表示の間で切り替えることができます。

### アイコン表示



### 一覧表示



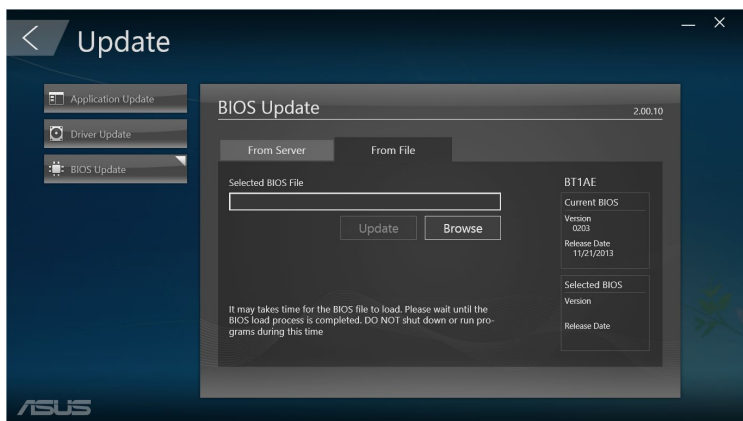
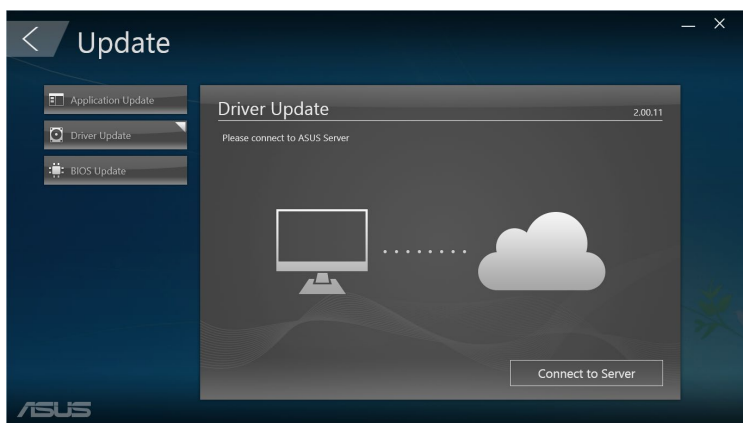
## System Information

メイン画面で「サポート」をクリックすると、本機のハードウェアとソフトウェアの詳細情報が表示されます。



## 更新

メイン画面で「更新」をクリックすると、ハードウェアドライバーや最新のBIOS、更新されたASUSアプリ等をダウンロード・インストールすることができます。



## セキュリティ

メイン画面で「セキュリティ」をクリックすると、USB Lockのユーティリティを起動することができます。

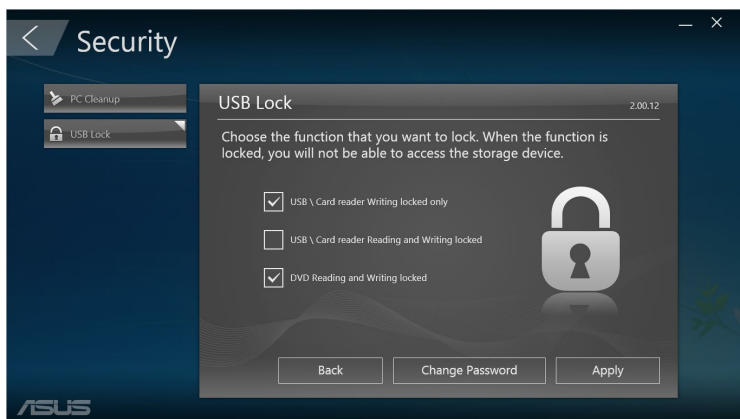
## PC Cleanup

PC Cleanupでは、一時ファイルや不要なファイルを削除し本機のハードドライブ領域を解放することができます。



## USB Lock

USB Lock機能では、パスワードを設定することで、望まないアクセスからUSBポートやカードリーダー、光学ドライブを保護します。



## バックアップと復元

メイン画面で「バックアップと復元」をクリックし、リカバリーディスクを使用して、システムの復元やスタートアップの設定変更、Windowsの修復などのWindowsのメンテナンスタスクを実行します。



## 電源

メイン画面で「電源」をクリックすると、電源管理画面が表示されます。Power Managerでは、ハードドライブの動作、表示、スリープ/システムの休止の時間の設定を行うことができます。

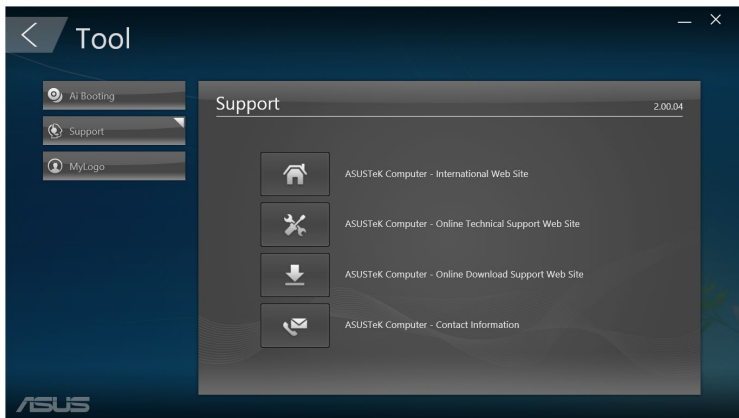


## ツール

メイン画面で「ツール」をクリックすると、Support画面、Ai Booting、MyLogoを起動することができます。

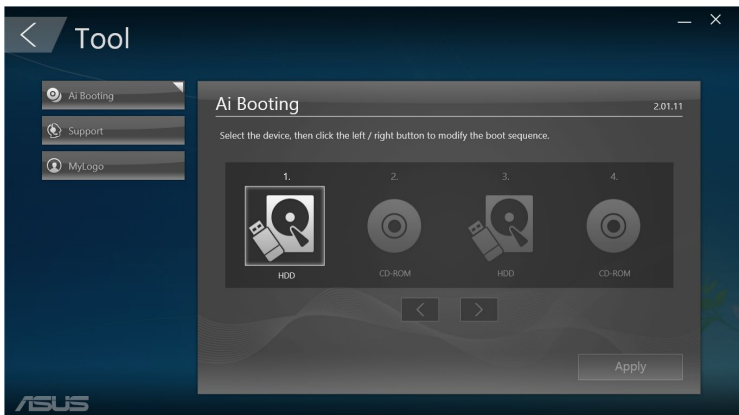
## サポート

サポートトリストには、ASUSのサポートサイトと連絡先情報が表示されます。



## Ai Booting

Ai Bootingでは、起動可能な記憶デバイスが一覧表示されます。デバイスを選択し、左/右ボタンでブートシーケンスを変更します。





# 6

## **BIOS Setup**

## UEFIとは

ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらい簡単に操作することができます。

---

**注:** EFI (UEFI) が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSはEFI (UEFI) を「UEFI BIOS」、「BIOS」と表記します。

---

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、Intel 社が提唱している、従来パソコンのハードウェア制御を担ってきた BIOS に代わる、OS とファームウェアのインターフェース仕様です。UEFIは非常に高機能な最新のファームウェアで従来のBIOSと違い拡張性に富んでいます。UEFIの設定はマザーボードのCMOS RAM (CMOS) に保存されています。通常、UEFIのデフォルト設定はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままを使用することをお勧めします。

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utility を起動するように指示があった場合
- UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合

---

**警告:** 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

---

## BIOS を起動する

- システム起動時にBIOS Setupを開くには、POST実行中に<Delete>または<F2>を押します。<Delete>を押さなければ、POSTはそのまま実行されます。
- システム起動後にBIOSを開く場合は、本機を再起動し、POST実行中に<Delete>または<F2>を押します。

# BIOSメニューオプション

**注:** 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。実際の画面はモデルや地域により異なる場合があります。

## Main

Advanced Modeのメインメニューでは、マザーボード、CPU、メモリーの基本的な情報を表示する他に、表示言語やセキュリティの設定を行うことができます。



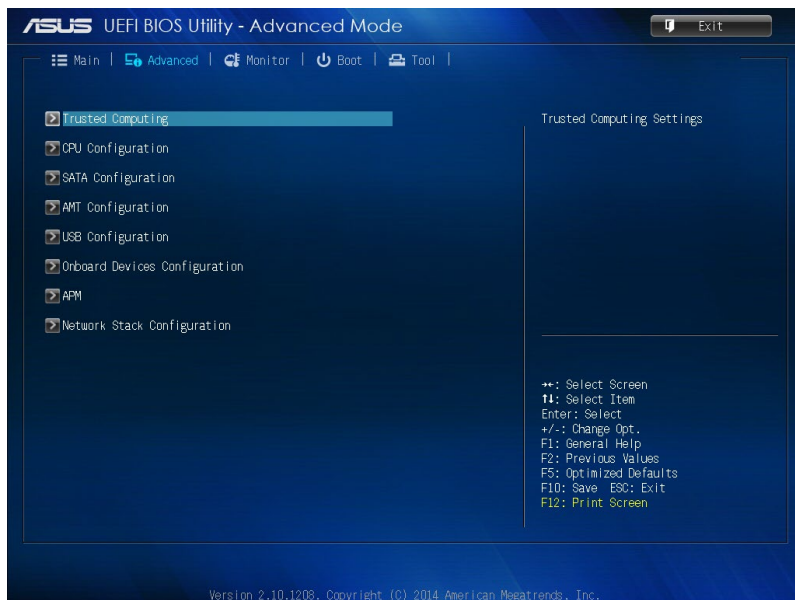
## Advanced

CPUやチップセット、オンボードデバイスが備える機能の設定をすることができます。

---

**警告:** アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の変更は十分にご注意ください。

---



## Boot

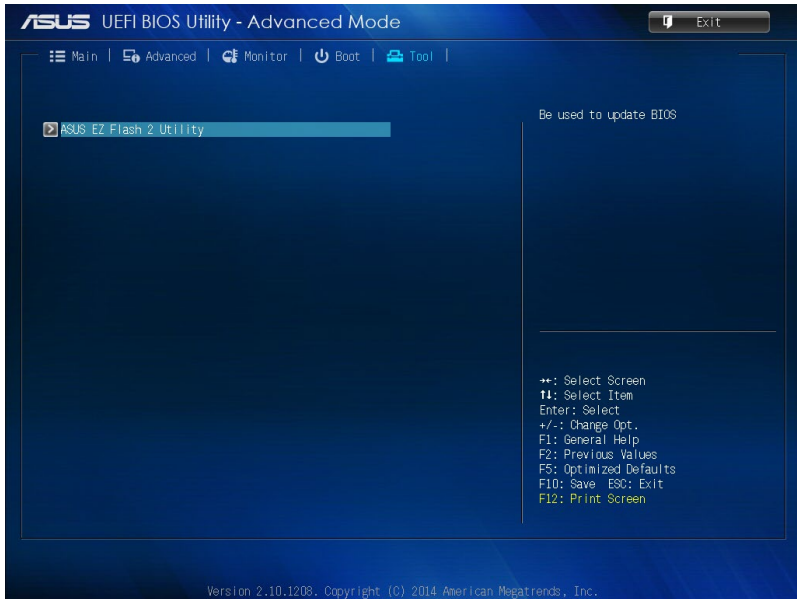
システム起動に関する設定を行うことができます。

スクロールすることで画面の外に隠れているコンテンツを表示することができます。



## ツール

ASUS独自機能の設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押して各機能を起動することができます。



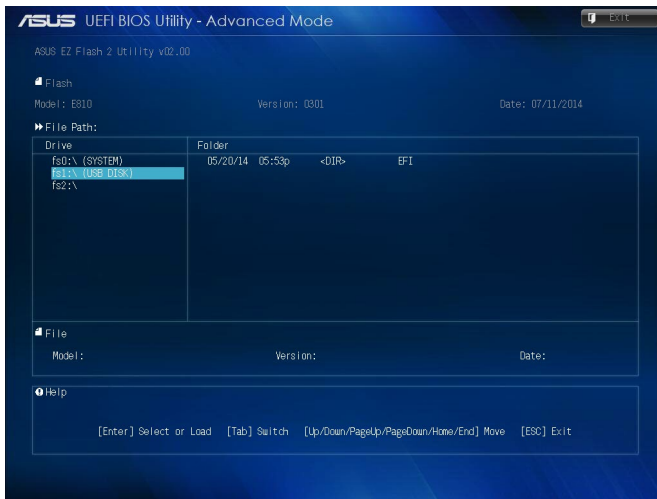
# ASUS EZ Flash 2 Utility

ASUS EZ Flash 2 は、OSベースのユーティリティを起動することなくUEFI BIOSを短時間で更新することができます。

注: このユーティリティをご利用になる前に、最新のUEFI BIOSをASUSのサイトからダウンロードしてください。(http://www.asus.com)

## ASUS EZ Flash 2を使用してUEFI BIOSを更新する手順

1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動し、**Tool** メニューから「**ASUS EZ Flash 2 Utility**」を起動します。



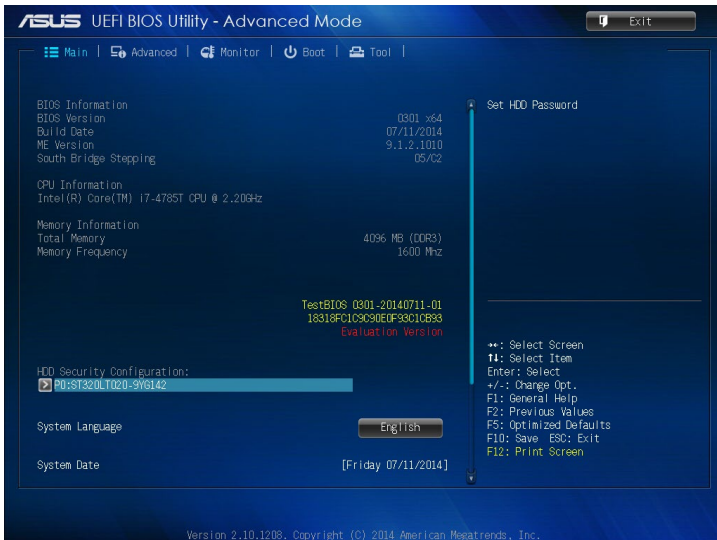
3. DriverフィールドでBIOSイメージファイルが保存されているUSBメモリーを選択し<Enter>を押します。
4. Folderフィールドで更新に使用するBIOSイメージファイルを選択し<Enter>を押します。
5. 読み込まれたBIOSイメージファイルが正しいことを確認し、UEFI BIOSの更新を開始します。
6. UEFI BIOSの更新が完了したら、「**OK**」ボタンを押してシステムを再起動します。

## HDDアクセスの設定

BIOSではパスワードを設定し、HDDを保護することができます。次の手順に従い、設定を有効にします。

**注:** 「User Password」を設定すると、OSを起動する際にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

1. システム起動時のPOST実行中に<Delete> または <F2> を押し、BIOS Setupを開きます。
2. Mainで「**HDD Security Configuration**」の下にある  をクリックします。





3. 「Set User Password」をクリックします。



4. 「Create New Password」ボックスで、パスワードを入力し<Enter>を押します。
5. 確認のためパスワードを再度入力します。
6. 「Exit」→「Save Changes & Reset」の順に選択し、変更を保存します。

## HDD用のパスワードを変更する

1. システム起動時のPOST実行中に<Delete> を押し、BIOS Setupを開きます。
2. メインメニューで「**HDD Security Configuration**」の下にある  をクリックします。
3. 「**Set User Password**」をクリックします。
4. 「**Enter Current Password**」のボックスに現在のパスワードを入力し<Enter> を押します。
5. 「**Create New Password**」ボックスで、新しいパスワードを入力し<Enter> を押します。
6. 確認のためパスワードを再度入力します。
7. 「**Exit**」→「**Save Changes & Reset**」の順に選択し、変更を保存します。

## ユーザーパスワードを削除する

1. システム起動時のPOST実行中に<Delete> を押し、BIOS Setupを開きます。
2. メインメニューで「**HDD Security Configuration**」の下にある  をクリックします。
3. 「**Set User Password**」をクリックします。
4. 「**Enter Current Password**」のボックスに現在のパスワードを入力し<Enter> を押します。
5. 「**Create New Password**」ボックスで何も入力せずに<Enter> を押します。
6. 新しいパスワードを確認するメッセージが表示されたら、再度何も入力せずに<Enter> を押します。
7. 「**Exit**」→「**Save Changes & Reset**」の順に選択し、変更を保存します。

---

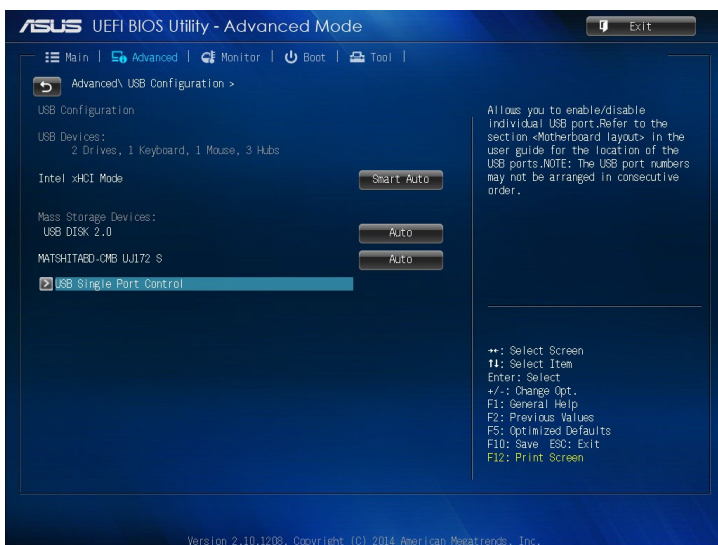
**注:** パスワードが正常に消去されると、「**HDD User Pwd Status**」は「**Unloaded**」と表示されます。

---

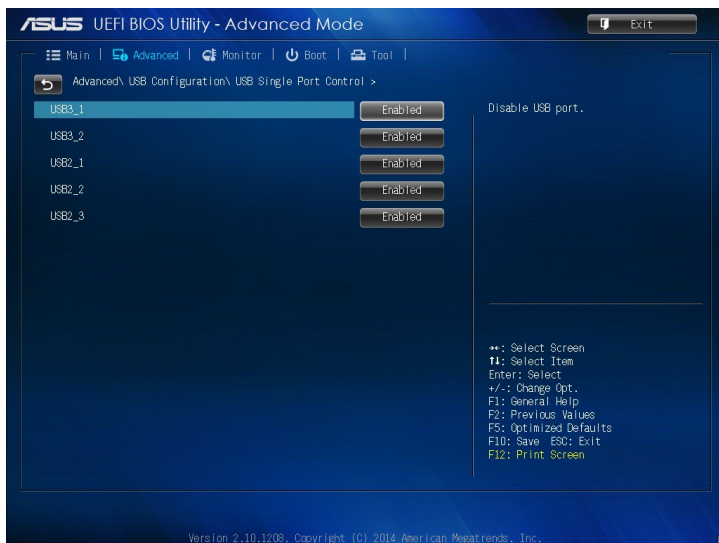
## USBポートの設定

BIOSでは本機の特定のUSBポートへのアクセスを制御することができません。

1. システム起動時のPOST実行中に<Delete> または <F2> を押し、BIOS Setupを開きます。
2. 「**Advanced**」→「**USB Configuration**」→「**USB Single Port Control**」の順にクリックします。

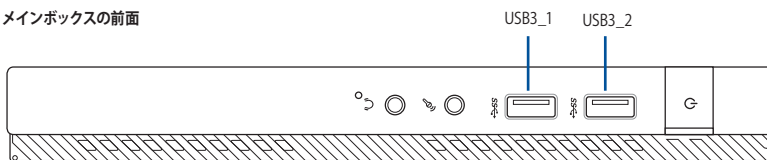


3. 「USB Single Port Control」画面で有効/無効を設定したいUSBポートを選択します。

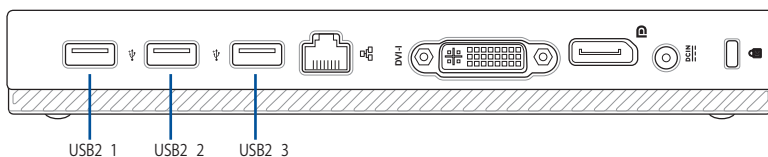


**注:** BIOS画面で指定したUSBポートの位置は、次図でご確認ください。

メインボックスの前面



メインボックスの背面



7

トラブルシューティング

## コンピューターの電源がオンにならず、フロントパネルの電源LEDも点灯しない。

- コンピューターが正しく接続されていることをご確認ください。
- コンセントに問題がないことをご確認ください。
- 電源ユニットの電源がオンであることをご確認ください。詳細は Chapter 2 セクション「**電源をオンにする**」をご参照ください。

## コンピューターがフリーズする。

- 次のいずれかの方法で応答していないプログラムを終了します。
  1. <Alt> + <Ctrl> + <Delete> キーを押し、「**タスクマネージャ**」を起動します。
  2. 「**タスクマネージャー**」の「**プロセス**」タブから応答していないプログラムを選択し、「**タスクの終了**」をクリックします。
- キーボードが反応しない場合は、ケース上部にある電源ボタンを長押しし、コンピューターを強制終了します。しばらくしてから電源ボタンを押し電源をオンにしてください。

## ASUS WLANカード (特定モデルのみ) を使用してワイヤレスネットワークに接続できない。

- 接続するワイヤレスネットワーク用の正しいネットワークセキュリティキーを入力してください。
- 外付けアンテナ (オプション) をASUS WLANカードのアンテナコネクタに接続し、アンテナをコンピューターのケース上に設置します。

### 数字キーパッドのカーソルキーが動作しない。

Number Lock LEDがオフになっていることをご確認ください。  
Number Lock LED がオンになっている場合、数字キーパッドのキーは数字以外は入力できません。Number Lockキーを押してLEDをオフにしてください。

### ディスプレイに画像が何も表示されない。

- ディスプレイの電源がオンになっていることをご確認ください。
- ディスプレイがコンピューターのビデオ出力ポートに正しく接続されていることをご確認ください。
- コンピューターにディスクリットビデオカードが搭載されている場合は、ディスプレイを ディスクリットビデオカードのビデオ出力ポートに接続してください。
- ディスプレイのビデオコネクターのピンが曲がっている、破損している場合は、ディスプレイのビデオコネクタケーブルを交換します。
- ディスプレイが電源に正しく接続されていることをご確認ください。
- ディスプレイに付属のドキュメントを参照し、問題を解決してください。

### 複数のディスプレイの使用時、ディスプレイ1台にしか画像が出力されない。

- ディスプレイ2台とも電源がオンになっていることをご確認ください。
- POST実行中は、画像が出力されるのはVGAポートに接続したディスプレイのみです。デュアルディスプレイ出力はWindows環境でのみ利用可能です。
- ビデオカードをコンピューターに装着している場合は、ディスプレイをそのビデオカードの出力ポートに接続してください。
- マルチディスプレイ設定に誤りがないことをご確認ください。

## コンピューターがUSBストレージデバイスを検出しない。

- コンピューターにUSBストレージデバイスを初めて接続した場合、Windows は自動的に専用ドライバーをインストールします。暫くしてからマイコンピューターでUSBストレージデバイスが検出されているかをご確認ください。
- USBストレージデバイスを他のコンピューターに接続し、USBストレージデバイスが故障していないことをご確認ください。



## 電源

問題	考えられる原因	解決策
電源がオンにならない (電源インジケータがオフ)	電圧が適合していない	<ul style="list-style-type: none"><li>• コンピューターの電源ユニットに電圧切替スイッチが存在する場合、地域の電圧に正しくセットされているかを必ず確認する</li><li>• 電圧切替スイッチの設定変更は、必ず電源コードをコンセントから抜いた状態で行う</li></ul>
	コンピューターの電源がオフ	フロントパネルの電源ボタンを押し、コンピューターの電源をオンにする
	コンピューターの電源コードが正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源コードが正しく接続されていることを確認する</li><li>• 他の互換性のある電源コードを使用する</li></ul>
	PSU (電源ユニット) の問題	電源装置の修理はASUSサービスセンターに依頼する

## ディスプレイ

問題	考えられる原因	解決策
コンピューターをオンにしてもディスプレイに画像が出力されない(黒い画面)	信号ケーブルがコンピューターの適切なVGAポートに接続されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 信号ケーブルをコンピューターの適切なVGAポートに接続する(オンボードVGAまたはディスクリートVGAポート)</li><li>• ディスクリートVGAカード使用時は信号ケーブルをディスクリートVGAポートに接続する</li></ul>
	信号ケーブルの問題	<ul style="list-style-type: none"><li>• 他のディスプレイに接続してみる</li><li>• 別の信号ケーブルに交換してみる</li></ul>

## LAN

問題	考えられる原因	解決策
インターネットにアクセスできない	LANケーブルが接続されていない	LANケーブルをコンピューターに接続する
	LANケーブルの問題	LAN LEDのオンを確認する。オフの場合は他のLANケーブルを使用する。問題が解決しない場合は、ASUSのサービスセンターに連絡する。
	コンピューターがルーター/ハブに正しく接続されていない	コンピューターをルーター/ハブに正しく接続する
	ネットワーク設定	インターネットサービスプロバイダー (ISP) に正しいLAN設定を確認する
	アンチウイルス・ソフトウェアが原因で発生しているトラブル	アンチウイルスソフトウェアを終了する
	ドライバーの問題	LANドライバーを再インストールする

## オーディオ

問題	考えられる原因	解決策
音声が出力されない	スピーカー/ヘッドホンが正しいポートに接続されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>• コンピューターのユーザーマニュアルを参照し、正しいポートに接続する</li><li>• スピーカーを一度外し、再度コンピューターに接続する</li></ul>
	スピーカー/ヘッドホンが動作しない	他のスピーカー/ヘッドホンを使用する
	フロント/バックパネルのオーディオポートが動作しない	フロント/バックパネルのオーディオポート両方を使用する。ポート1基のみ機能しない場合は、マルチチャンネルに設定されていないか確認する
	ドライバーの問題	オーディオドライバーを再インストールする

## システム

問題	考えられる原因	解決策
システムの 処理速度が 遅い	起動中のプログラ ムが多すぎる	いくつかのプログラム終 了し、起動中のプログラ ムの数を減らしてみる
	ウイルスの攻撃	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アンチウイルスソフトウ ェアでシステムスキャ ンを実行し、ウイルスを 駆除する</li><li>・ OSを再インストール する</li></ul>
フリーズする	ハードディスクド ライブの不具合	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ハードディスクドライブ のメンテナンスをASUS サービスセンターに依 頼する</li></ul>
	メモリーの問題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ メモリーの追加や交換 を行う場合、必ず互換 性のあるメモリーを利 用する</li><li>・ メモリーを追加した後 に問題が発生した場 合、追加したメモリー を取り外して動作確認 を行う</li></ul>
	コンピューターの 通気が足りない	コンピューターの設置場 所を変える
	互換性のないソフ トウェアの使用	OSを再インストールし、 互換性のあるソフトウ ェアをインストールする

## CPU

問題	考えられる原因	解決策
コンピューター起動直後のノイズ	コンピューターが起動中	正常なノイズ。コンピューター起動時はファンがフル回転し、OS起動後はファンの回転数は下がる
	BIOS設定の変更	BIOSをデフォルト設定に戻す
	BIOSバージョンが古い	最新のBIOSバージョンに更新する。最新バージョンはASUSオフィシャルサイトでダウンロード可能。 <a href="http://www.asus.com/jp/support/">http://www.asus.com/jp/support/</a>
コンピューター使用時のノイズ	CPUファンの故障	CPUファンが故障した場合、サービスセンターに修理を依頼する
	コンピューターの通気が足りない	コンピューターの設置場所を変える
	システム温度の上昇	<ul style="list-style-type: none"><li>• BIOS更新</li><li>• ケース内部のメンテナンス</li></ul> (注: マザーボードの取り付け方を熟知している場合のみ)

# 付録

## 回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

## REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>

## Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328]



## Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

### CE Mark Warning

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.



### CE marking for devices without wireless LAN/ Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC “Electromagnetic compatibility” and 2006/95/EC “Low voltage directive”.



### CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

 is for class II device.

## Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference; and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

---

**IMPORTANT!** The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

---

## リチウムバッテリーについての警告

**警告:** RTC(Real Time Clock)バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。バッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相応するものをご使用ください。バッテリーの廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

---

## RF Exposure Warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separate distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provided with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

## IC: Canadian Compliance Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. This device complies with RSS 210 of Industry Canada. This Class B device meets all the requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

This device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Cet appareil numérique de la Classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Cet appareil est conforme aux normes CNR exemptes de licence d'Industrie Canada. Le fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

- (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences et
- (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

## Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

# VCCI: Japan Compliance Statement

## VCCI Class B Statement

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

\*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

## RF Equipment Notices

### CE: European Community Compliance Statement

The equipment complies with the RF Exposure Requirement 1999/519/EC, Council Recommendation of 12 July 1999 on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields (0–300 GHz). This wireless device complies with the R&TTE Directive.

### Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use when operating in the 5.15 to 5.25 GHz frequency band.

### Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the Wi-Fi technology is below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, it is advised to use the wireless equipment in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

## FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

## Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## BSMI: Taiwan Wireless Statement

### 無線設備的警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更射頻、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之  
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ~ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

## Japan RF Equipment Statement

この製品は、周波数帯域5.15～5.35GHzで動作しているときは、屋内においてのみ使用可能です。

## KC (RF equipment)

대한민국 규정 및 준수

방통위고시에 따른 고지사항

해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음,

이 기기는 인명안전과 관련된 서비스에 사용할 수 없습니다.

# Optical Drive Safety Information

## Laser Safety Information

### CD-ROM Drive Safety Warning

#### CLASS 1 LASER PRODUCT

---

**WARNING!** To prevent exposure to the optical drive's laser, do not attempt to disassemble or repair the optical drive by yourself. For your safety, contact a professional technician for assistance.

---

## Service warning label

---

**WARNING!** INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

---

## CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

---

**WARNING!** Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

---

## ENERGY STAR complied product



ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 10 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard. Please visit <http://www.energy.gov/powermanagement> for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit <http://www.energystar.gov> for detail information on the ENERGY STAR joint program.

---

**NOTE:** Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based operating systems.

---

## 電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950:2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は

「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報は巻末の表、またはASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。



## ASUSコンタクトインフォメーション

### ASUSTeK COMPUTER INC.

住所	15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話	+886-2-2894-3447
ファックス	+886-2-2890-7798
メール	info@asus.com.tw
ウェブサイト	<a href="http://www.asus.com.tw">www.asus.com.tw</a>

### テクニカルサポート

電話	0800-093-456
オンラインサポート	<a href="http://support.asus.com">support.asus.com</a>

### ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所	800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
ファックス	+1-510-608-4555
ウェブサイト	<a href="http://usa.asus.com">usa.asus.com</a>

### テクニカルサポート

電話	+1-812-282-2787
オンラインサポート	<a href="http://support.asus.com">support.asus.com</a>

## ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ、オーストリア)

住所 Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany  
ファックス +49-2102-959911  
ウェブサイト [www.asus.de](http://www.asus.de)

### テクニカルサポート

電話 +49-1805-010923  
サポートファックス +49-2102-9599-11  
オンラインサポート [support.asus.com](http://support.asus.com)

## ASUS コールセンター (日本)

ウェブサイト <http://www.asus.co.jp>  
電話 0800-123-2787  
※携帯電話やPHSなど、サポート受付電話番号をご利用できない場合  
047-390-5630 (通話料お客様負担)  
サポートファックス 047-390-5630  
オンラインサポート <http://vip.asus.com/eservice/techserv.aspx>



# EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Mini Desktop PC
Model name :	E810

conform with the essential requirements of the following directives:

**2004/108/EC-EMC Directive**

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010+AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2013
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

**1999/5/EC-R&TTE Directive**

<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input type="checkbox"/> EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 302 823 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
<input type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 62311:2008	

**2006/95/EC-LVD Directive**

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

**2009/125/EC-ErP Directive**

<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 617/2013

**2011/65/EU-RoHS Directive**

Ver. 140331

**CE marking**



(EC conformity marking)

Position : CEO

Name : Jerry Shen

Declaration Date: 01/08/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

Signature : \_\_\_\_\_